

災害から命を守る ～地域のつながり～

近年は、地震や大雨などが各地で発生し、甚大な被害となっています。また、南海トラフ地震などの大規模地震も予測されています。市では、災害は「来るかもしれない」ではなく、「必ず来る」という認識のもと、災害に強いまちづくりを進めています。皆さんも、個人や地域で災害に備えておきましょう。

詳細 防災対策課 ☎ 058-383-1190

自助 自分の命は自分で守る

災害発生の直後は、自分や家族の命を守ることが最優先です。「自分の命は自分で守る」という意識のもと、必要な物資の備蓄や、災害が起きた時にとるべき行動を家族で話し合うなど、日頃からの備えが重要です。

市では、日頃からできる防災対策や避難行動のポイントなどをまとめた「防災ハンドブック」を、令和8年4月に全戸配布しました。このハンドブックは、市役所本庁舎や、市民サービスセンターで配布しているほか、市のウェブサイトでもご覧いただけます。ぜひ活用し、災害に備えてください。



共助 地域や身近な人同士の助け合い

災害発生時、自治会を基本とした自主防災組織などによる安否確認や避難支援が重要です。これらの活動を円滑に行うために、日頃から顔が見える関係を築いておくことや、地域における自主防災訓練の実施、市が主催する防災訓練、防災講座への参加なども大切です。

避難所運営を学ぶ（地域防災訓練）

毎年、市内の一次避難所（緑苑小学校を除く 16 の小学校および稲羽中学校、緑陽中学校）において、自治会単位で参加する、避難所運営に関する防災訓練を開催しています。今年度は、11月15日（日）に、避難所における居住スペースのレイアウト作成や簡易トイレの組立訓練などを予定しています。

防災を担う人材の育成（各務原市防災ひとづくり講座）

市では、地域の防災活動を担う、市防災推進員（防災リーダー）を育成するため、「防災ひとづくり講座」を開催しています。今年度は、下記の通り開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時 11月28日、12月5日 いずれも土曜日 9:00～17:00（全2回）

場所 産業文化センター7階第1会議室（那加桜町2）

対象 市内在住・在学・在勤で、「市防災推進員」として地域の防災活動をけん引する意欲のある方

定員 20人（抽選）

申込・詳細 10月20日までに、市ウェブサイト内専用フォーム



公助 公的機関による救助や支援

市では、災害に備えて、備蓄品や資機材の充実、関係機関と連携した防災訓練の実施、他自治体や民間事業者との連携協定の締結など、さまざまな対策を進めています。

● 備蓄品

災害に備えて、一次避難所などに防災備蓄倉庫を設置しています。市ウェブサイトでは、倉庫に備蓄している主な品目・数量を公開しています。



● 総合防災訓練

毎年、自衛隊や警察・消防・関係団体などによる災害時の実動訓練を実施しています。今年は、11月1日（日）に川崎重工ホッケースタジアムの東側駐車場で、救出活動や消火活動などの訓練を予定しています。



● 木曽川流域3市で協定を締結

今年7月に愛知県犬山市・江南市と「木曽川3市県境連携・災害対処総合応援に関する協定」を締結しました。災害発生時の受援体制や、物資輸送などの運用を平時から整えるとともに、訓練や事後検証を重ねることで、その精度を高めていきます。



地域で備える（自主防災訓練）

火災、地震などによる被害を最小限に抑えるためには、自治会などで自主防災組織を編成し、日頃から地域の住民が災害を想定して、訓練を実施することが大切です。訓練は自治会だけでもできるものから、消防署・防災対策課が指導するものまであります。地域の防災力を高めるために、地域の実情に合った訓練を実施しましょう。なお、訓練を実施する際には、あらかじめ実施計画書の提出が必要です。



炊き出し訓練



搬送訓練

地域のつながりが、いざというときの力に

自治会では、日頃からあいさつや見守りなどを通して、地域のつながりが育まれています。いざというときに「声をかける」、「安否を確認する」といった助け合いができるのも、普段から顔の見える関係があるからです。顔の見える関係は、日々の暮らしの安心にもつながります。

ご自身の自治会について詳しく知りたい方は、お住まいの地域の自治会長にご相談ください。自治会長が分からない場合は、まちづくり推進課にお問い合わせいただくか、右記二次元コードから、自治会への取次を申し込みください。

詳細 まちづくり推進課 ☎ 058-383-1662

